

ツール・ド・北海道閉幕

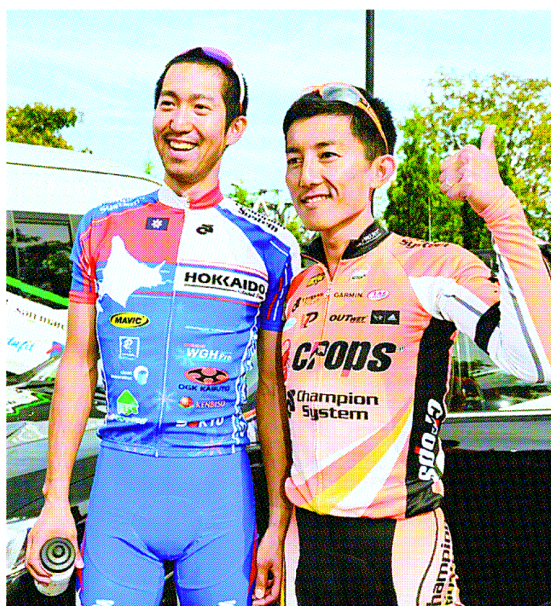
山本幸平選手は28位

兄・和弘選手38位

国内最大級の自転車ロードレース「ツール・ド・北海道」(ツール・ド・北海道協会)など主催は15日、第3ステージ(166キ)を行い閉幕

ユした。計543キを走破した選手に、多くの観客から温かい拍手が送られた。大会は3ステージ制で、13日は千歳から新得まで、14日は幕別をスタートして更別、大樹、豊頃を通して幕別に戻った。

北海道地域選抜の幕別出身のマウンテンバイク(MTB)五輪日本代表の山本幸平選手(SPECIALIZED)国際アウトドア専門学校、帯農高出)は12時間15分39秒で28位、兄の和弘選手(キャンノンデール・チャンピオンシステム)は12時間15分44秒で38位だった。



レース終了後にファンの求めに応じて写真に収まる山本和弘、幸平兄弟(右から。塩原真撮影)

た。

また、市民レース第2日は14日に幕別町依田公園を発着点に、最終日の15日に

札幌市のモエレ沼公園で実施した。管内関係ではチーム大樹の乾飛鳥さん(42)が総合B(中級者、初級者40歳未満の部)で、2時間59分23秒56で3位に入賞する健闘を見せた。

(北雅貴、高津祐也)

※記録など詳細は後日掲載。